

1～4年次 進級判定基準

将来、医療専門職として社会に貢献する医師には、確かな医学知識と臨床技能に加えて、高い倫理観と責任感を持ち、患者に寄り添えるプロフェッショナルとしての資質が求められる。そのため、各科目の単位認定においては、医学教育において重要な3つの要素である「知識」「技能」「態度」のすべてが基準を満たしていることが必要となる。

評価は、「知識・技能」（試験、実技評価等）と「態度」（積極性、協調性、責任感等）を別個に行い、それぞれの基準を満たすことを単位認定の要件とする。いずれかの基準を満たさない場合、単位は認定されない。単位認定および進級の可否は、教授会の審議により最終的に決定される。

「態度」は、各科目責任者が本学のディプロマ・ポリシーに基づき厳正に判断し、適・不適で評価する。態度評価が不適と判断された場合、当該科目の単位は認定されない。

以 上